【情報処理士】教育課程　到達目標達成度評価表（提出用）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 資格到達目標 | 開発能力 | 具体的な学修目標 | 学生自己評価  （項目別）レベル | 学生自己評価  （領域別）総合評価 |
| 領域１　情報社会において情報を適切に扱う基礎的知識と技能をもち、他者への思いやりをもって協働できる働く基本能力を身につけている。 | 1-1  情報社会における情報の知識 | ①情報がもつ特性、その表現方法を理解している。テキスト・画像・動画・音声など多様なデジタルデータの保管や扱いについて説明できる。 | 5・4・3・2・1 | 5・4・3・2・1 |
| ②マスメディアやインターネット上の多様な情報コミュニケーションの手段とその特性、社会的役割や影響を理解している。 | 5・4・3・2・1 |
| ③デジタル技術による社会の発展の可能性やリスク、著作権・個人情報保護・プライバシー等を理解している。 | 5・4・3・2・1 |
| 1-2  情報社会において情報を扱う技能 | ④マスメディアやインターネット上で表現された情報の意味や発信者の意図を批判的・客観的に正しく評価し、それを踏まえて情報を有効に活用できる。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑤論理的で説得力のある文章・レポートを作成できる。情報を可視化し、的確に伝えるためにグラフ・図を工夫して作成できる。 | 5・4・3・2・1 |
| 1-3  情報社会において情報を扱う態度 | ⑥必要な情報を収集し、客観的情報に基づき、論理的に判断できる。他者の考えを踏まえ、自分の考えが客観的に適切かどうかを判断できる。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑦情報倫理を理解し、他者への思いやりをもってインターネット上で情報共有者、発信者として適切に行動できる。 | 5・4・3・2・1 |
| 領域２　情報科学の知識と技能を理解・修得した上で、それらを実務に適切に活用することができる。 | 2-1  コンピュータとネットワークの知識と実践 | ⑧コンピュータや情報技術の基本原理を踏まえて、ハードウェアとソフトウェアの関係を理解し、デジタル情報を活用できる。 | 5・4・3・2・1 | 5・4・3・2・1 |
| ⑨コンピュータネットワークの基本原理を理解し、その上の情報の流れとコミュニケーションの特性、情報社会のリスクに関する知識を有する。 | 5・4・3・2・1 |
| 2-2  データサイエンスと人工知能（AI）の知識と実践 | ⑩データの記述や統計分析など、データサイエンスの基本技術を理解し、活用できる。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑪機械学習を中心とした人工知能（AI）技術を理解し、AIによって何が可能になるか、社会にどう影響するかわかる。 | 5・4・3・2・1 |
| 領域３　情報社会において、対象となる課題を発見・分析し、客観的に捉え、創造的に解決することの重要性を理解している。 | 3-1  課題解決の技能 | ⑫身近な状況の中から課題を発見し、効果的な手法を活用して、課題を解決することができる。 | 5・4・3・2・1 | 5・4・3・2・1 |
| ⑬コミュニケーションの本質を理解し、集団の前で効果的にプレゼンテーションができ、また共同作業において様々な目的で話し合いができる。 | 5・4・3・2・1 |
| 3-2  課題解決の態度 | ⑭グループ活動において、相手の立場を理解して合意点を探り、協調でき、必要に応じてリーダシップを取るなど、適切に活動できる。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑮社会の変化を感知し、学びを継続して自分のライフキャリアを考え続けることができる。 | 5・4・3・2・1 |

〇評価結果の全体振り返りと今後の自分の開発能力と学修課題について（300字程度 学生記入）

|  |
| --- |
|  |

教職員提出確認

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大学ｺｰﾄﾞ |  | 大学名 |  | 学部・学科 |  |
| 学籍番号 |  | 氏名 |  |